

令和7年度脱炭素化推進事業松川町上片桐町営グラウンド照明LED化改修工事

令和7年度脱炭素化推進事業松川町上片桐町営グラウンド照明LED化改修工事

特記仕様書

一 工事概要

1 工事場所 長野県下伊那郡松川町上片桐 2 2 6 6

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	備	考
運動場	-	-			

工 事 種 目		(○印のついたものを適用する。)				
建物築及び屋外	工事項目	工事類別				
		電気設備	配電設備	照明設備	通信設備	その他
	電灯設備	○				
	動力設備					
	コンセント設備					
	電話設備					
	避雷設備					
	受変電設備					
	太陽光発電設備					
	自家発電設備					
	蓄電池設備					
	光記憶設備					
	構内放送設備					
	時計設備					
	表示設備					
	非常放送設備					
	呼出表示設備					
	インターホン設備					
	テレビ共用受信設備					
	監視カメラ設備					
	火災検知設備					
	自動消火器設備					
	非常警報設備					
	ガス漏れ警報設備					
	防犯設備					
	テスコープ・インターホン設備					
	情報（LAN）設備					
	中央監視制御設備					
	構内配電盤					
	構内通信設備					

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

適用図書及び書類は、下記によるもののほか関係法令、規則、各地方条例に準拠し、係員の指示のもとに施す。

- (A) 電気設備工事設計図
(B) 本特記仕様書
(C) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編 (令和4年度版)
改修工事は 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 電気設備工事編 (令和4年度版)
(D) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修 公共建築設備工事標準仕様書 電気設備工事編 (令和4年度版)
(E) 買収地密着 (現場説明を含む)。

尚、優先順位は (E) \rightarrow (B) \rightarrow (A) \rightarrow (C) \rightarrow (D) とする。

2 特記仕様

- (2) 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項目

① 燃料等

② 電気保安技術者

③ 電気工工事

④ 工事用電力

⑤ 足場・さん機組

⑥ 工事用仮設物

⑦ 張架

⑧ 発生材料の処理

⑨ 掘土処理

⑩ 施工計画書

⑪ 工事写真

⑫ 竣工計画書

⑬ 新築施工

特記事項

本工事に使用する設備・材料等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。
 実施業者が定められている規格については、設備・材料等指定書又は、(社)全日本建設協会が策定する「建築材料・設備機器等性能評価書」によって所定の品質、性能を有することの証明を受けた材料・設備等によるほか、これらと同等のものとする。ただし、これらの同等のものとする場合は、監督官の承認を受ける。
 機材の品質・性能証明

使用する機材が設備・材料等指定による認定業者等のもの又は、「建築材料・設備機器等性能評価書」によって所定の品質・性能を有することの証明を受けたものである場合は、共通仕様書第1章 第4節 1.4.1 (b) の品質および性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、共通仕様書に規定される制限、試験成績書は除く。

電気事業法による自家発電設備工事に係る工事においては、電気保安技術者をおき、電気工労働者の保安の実施を行うものとする。
 契約電力500kV未満の電気工事においても、第一級電気工事士以上で施工を行う。
 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び公害その他、他の設備損壊への賠子継ぎ等に要する費用は、請負者の負担とする。
 別表等の関係協定書が定めたものは、無効で使用するもの。
 すべて請負者の負担とする。
 ただし該設備は、構内に作ることができない
 工期期間中請負者の責任において労務保護に加入し、その費用は請負者の負担とする。
 設備 (施設) 引渡しまで請負者は工事目的、工事材料等について火災保険をかけるものとする。
 (1) 引渡しを要するものは () 有 ()
 (2) 引渡しを要するものは例外は除外し別途通知等とする。

(2) 特別管理産業廃棄物
 ・有 (PCB使用機器:)
 ・PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、廃物管理者に引き渡す。
 ・構内指定の場所に設置せしめらるる。
 ・例外は除くとする。

施工計画書は契約発注や次に提出し、製作図、施工図の提出時期を明示する。
 国土交通大臣官庁や労働部監修「工事写真の取り方 (改訂版) の建築設備編」による。また土木工事手帳に写真撮影計画を提出する。
 別表による。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備設計設計・施工設計 (国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所) 2014版」による。
 (1) 設計用水平地盤力
 機種の重量 [kg] に設計用標準水平地盤力を乗じたものとする。なお設計用水平地盤力は次に示る。
 設計用水平地盤力

設備場所	耐震安全性の分類			
	○ 特定の施設 (甲種・乙種)		一般の施設 (乙種)	
	重要機種・水機	一般機種・水機	重要機種・水機	一般機種・水機
上層機、屋上及び塔屋	2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
中間層	1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	1.0 (1.5) <1.0>	0.8 (1.0) <0.8>
地下層・1階	1.0 (1.0) <1.0>	0.8 (1.0) <1.0>	0.8 (1.0) <1.0>	0.4 (0.8) <0.4>

(注) () 内の数値は動振特性の機種の場合に適用する。
 <> 内の数値は水機用に適用する。

重要機種
 ○ 重要機種
 ・自家発電機
 ・交流制御機
 ・交流制御機
 ・交換機
 ・大気汚染防止設備
 ・中央空調機
 ・緊急防災設備
 ・キュービクル

上層層の定義は次に示る。
 6階以上の場合は最上層、7～9階の場合は上層2階
 10～12階の場合は上層3階、13階で以上の場合は上層4階
 (2) 設計用垂直地盤力
 設計用水平地盤力の1/2とし、水平地盤力と同時に働くものとする。

4 使用機器	取付し使用機器は、直ちに土漏れ及び地盤沈下測定を行った後取り付ける。ただし、地盤化学分析に耐えない場合は、保管員に報告する。
15 全鋼製ケーブルの巻装	下記の巻出配管は要装を行。 <div> <div>屋 外</div> <div>屋 内</div> </div> 長さ1m以上の入差ししない巻線管は、1. 2mm以上のビニル巻線保護管を挿入する。 鋼管に付記あるもの及び特異なものを除く <div> <div>・全鋼製</div> <div>・樹脂製</div> </div> ・フローアラッド型とする ・巻金 <div> <div>・アルミ製</div> </div> フロアコンセントは、直付（圧入式）型並行上下式（貫通型）とする。 0.6Aフロアに覆いつくは、ハネレスOAタップとする。
20 ケーブル設置	地中敷設には、ケーブル保護管をもつける。 <div> <div>・鉄製</div> <div>・コンクリート製</div> </div> 敷管と地盤のうみ決定する。
21 色彩の決定	
22 プレートの用途表示	フルボックス、ジョイントボックスおよび機器を裏面しないプレートには、用途を明示した略称をもつける。
23 プレートの装設	フルボックス等のプレートおよび図体で装設するものは、装付仕様と一致を度とせよめとする。
24 施工管理	国土交通大臣府官庁審判官監修「電気設備工事管理指針」（令和元年年度）による自、土施工管理に努めること。
25 竣工	竣工は全て設計図書に示された設備が、機能に完全に発揮するように竣工に行うこと。
26 非常用照明設置	
27 照度測定	照度測定（全照射型以上）
28 機器への接続	本工事の電力制御および別途設備等への配線の接続は本工事とする。
29 予備配管	増分分電盤からの立上り予備配管は、予備の配用用途断番4個以上の場合（25）を1本5m以上の場合には（25）を2本、天井まで立上とする。
30 検査簡便	盤および箱内部一内部動作とし、その機能保証はすべて装設作業メーカーとする。 非常停止を有するときは、非常送中における自防火災増加設備の地区警備装置の鳴動停止機能は付加すること。 電圧は非常用と一般用の2系統とし、両方トランスおよびバッテリー等原則として別々に設置する。
31 機器の寿命（総合値）	・寿命および耐用の保証率は1. 6mm以上とし、鳴動用は直接指示に明けたものとする。 ・標準時（ただし鳴動用は直接指示に明けたもの）
32 他工事又は他工程	工事区分による。ただしこれにより異なる場合は監督官と協議する。

3 機器取付

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による

[illegible]

4 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。重取外し用フックを1組納入する。)

- 2 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は建設省仕様基準とする。
・ハンドホール直径Eマーク入り、φ600とする。

ハンドホール No. -	1,500×1,500×1,500	底面	GL-1,740以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	1,200×1,200×1,500	底面	GL-1,700以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	1,200×1,200×1,300	底面	GL-1,490以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,500	底面	GL-1,800以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,100	底面	GL-1,300以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	1,000×1,000× 900	底面	GL-1,060以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	900× 900×1,500	底面	GL-1,660以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	900× 900×1,100	底面	GL-1,260以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	900× 900× 900	底面	GL-1,060以上
	・ 中荷重	重荷重	
ハンドホール No. -	600× 600× 680		
	・ 中荷重	重荷重	

5 接地装置

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による

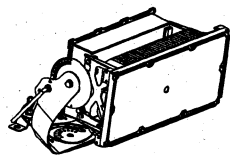
○	A種接地	鋼板 1.5×900×900 リード端子 塩素処理鋼の原寸	補助接地棒 (建設式 10φ×1,500) 2m 埋設棒 (真鍮板又はステンレス製)
○	B種接地	鋼板 1.5×600×600 リード端子 塩素処理鋼の原寸	補助接地棒 (建設式 10φ×1,600) 2m 埋設棒 (真鍮板又はステンレス製)
○	C種接地	鋼板 1.5×300×300 リード端子 塩素処理鋼の原寸	補助接地棒 (建設式 10φ×1,500) 1.5m 埋設棒 (真鍮板又はステンレス製)
○	D種接地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子 打ち込み 埋設棒 (真鍮板又はステンレス製)

その他

This image shows a single sheet of white paper designed for primary-level writing. It features ten horizontal blue ruling lines spaced evenly down the page. A single vertical red margin line runs parallel to the left edge, creating a narrow left margin. The paper is otherwise blank, with no text or other markings.[illegible]

照明器具姿図

中角型 投光器 マルチハロゲン灯タイプ 1000形



電源ユニット内蔵、中角配光タイプ
光束68700lm、消費電力403W、電圧200~242V
昼白色、5000K、Ra70、光源寿命40000時間(光束維持率85%)
本体：アルミ(コーヒングラシン)、前面ガラス：リカーボネート(透明)
フレーム：鋼材(溶融亜鉛メッキ)、ハンドル：ステンレス
重耐塩害仕様、保護等級：IP65、耐風速60m/s、質量：11.5kg
落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15kV、初期光束補正型(平均電力373W)

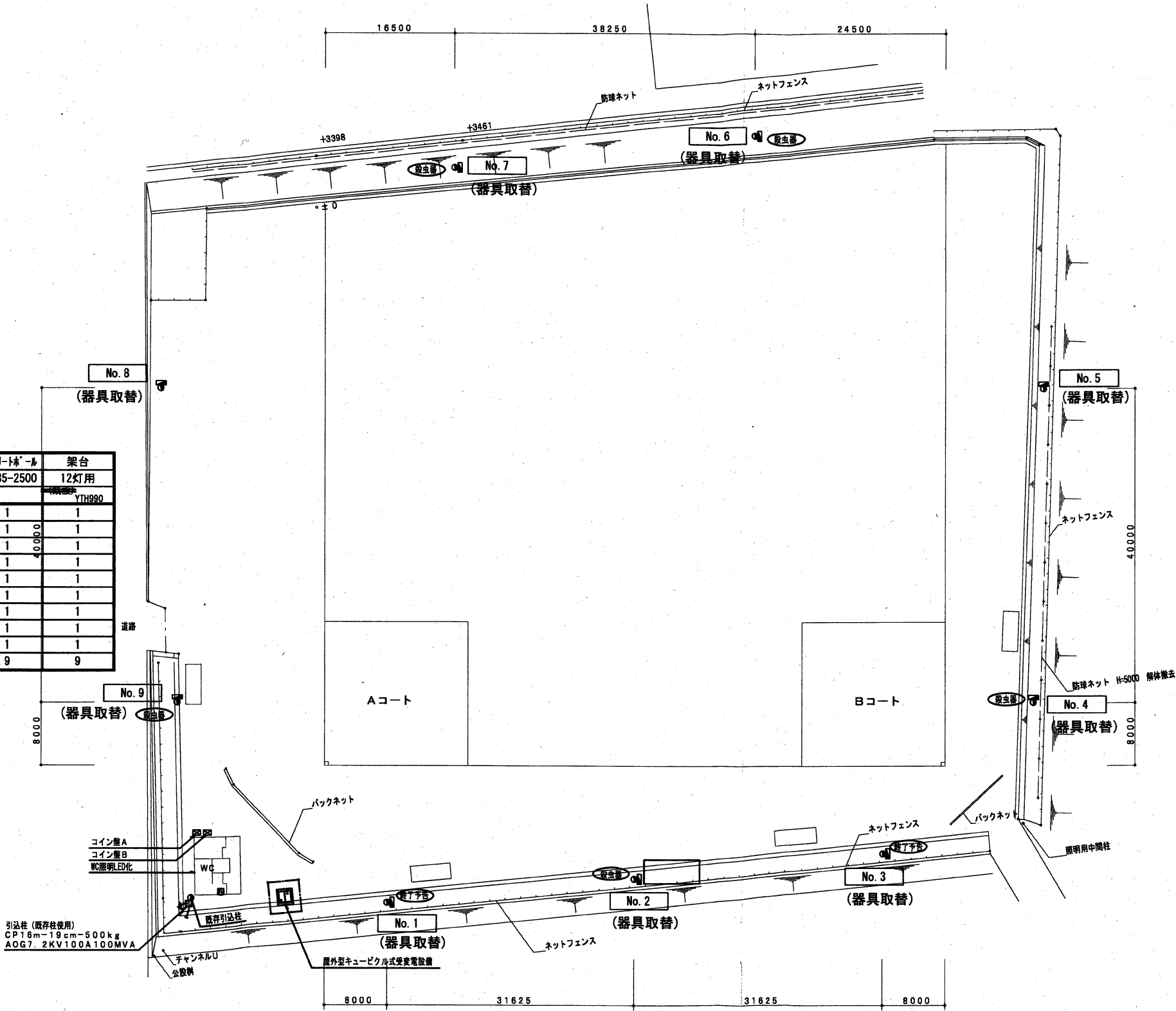
NYS30537KLF2

※型式は参考とする

数量表

区分	照明柱区分		投光器		ランプ	安定器	殺虫器	終了予告回転灯	コンクリートポール	架台
	記号	シンボル	中角型	中角型	-	-	-	-	21-35-2500	12灯用
運動場	No. 1	●	8	4	12	12	0	1	1	1
	No. 2	●	8	4	12	12	1	0	1	1
	No. 3	●	8	4	12	12	0	1	1	1
	No. 4	●	8	4	12	12	1	0	1	1
	No. 5	●	8	4	12	12	0	0	1	1
	No. 6	●	8	4	12	12	1	0	1	1
	No. 7	●	8	4	12	12	1	0	1	1
	No. 8	●	8	4	12	12	0	0	1	1
	No. 9	●	8	4	12	12	1	0	1	1
	計		72	36	108	108	5	2	9	9

※型式は参考とする

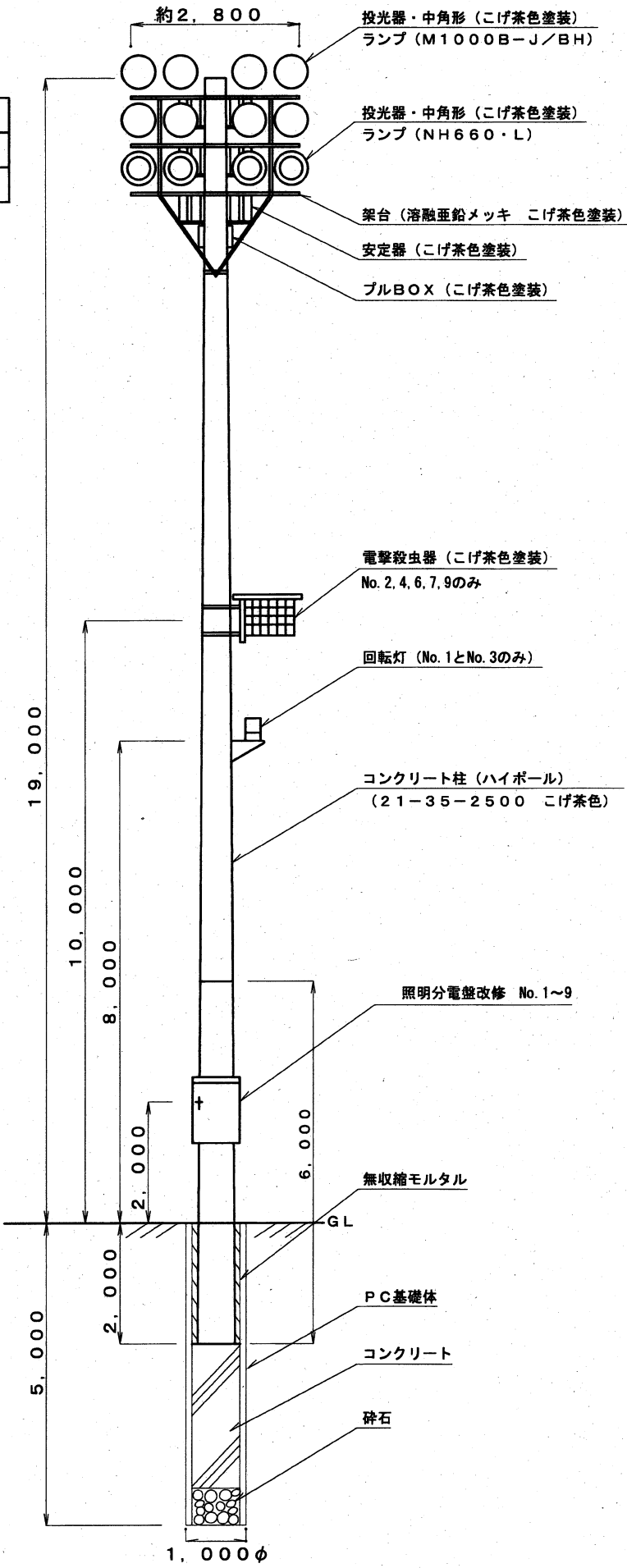


グラウンド配置図 1: 600

設計番号		工事名称	令和7年度脱炭素化推進事業松川町上片桐町営グラウンド照明LED化改修工事				設計完了	年	月	日				
図面枚数	全 3 枚	図面名称	照明器具表				図面訂正	年	月	日				
図面番号		縮 尺	A1: 1/300	担当者		検 閲	図面訂正	年	月	日				

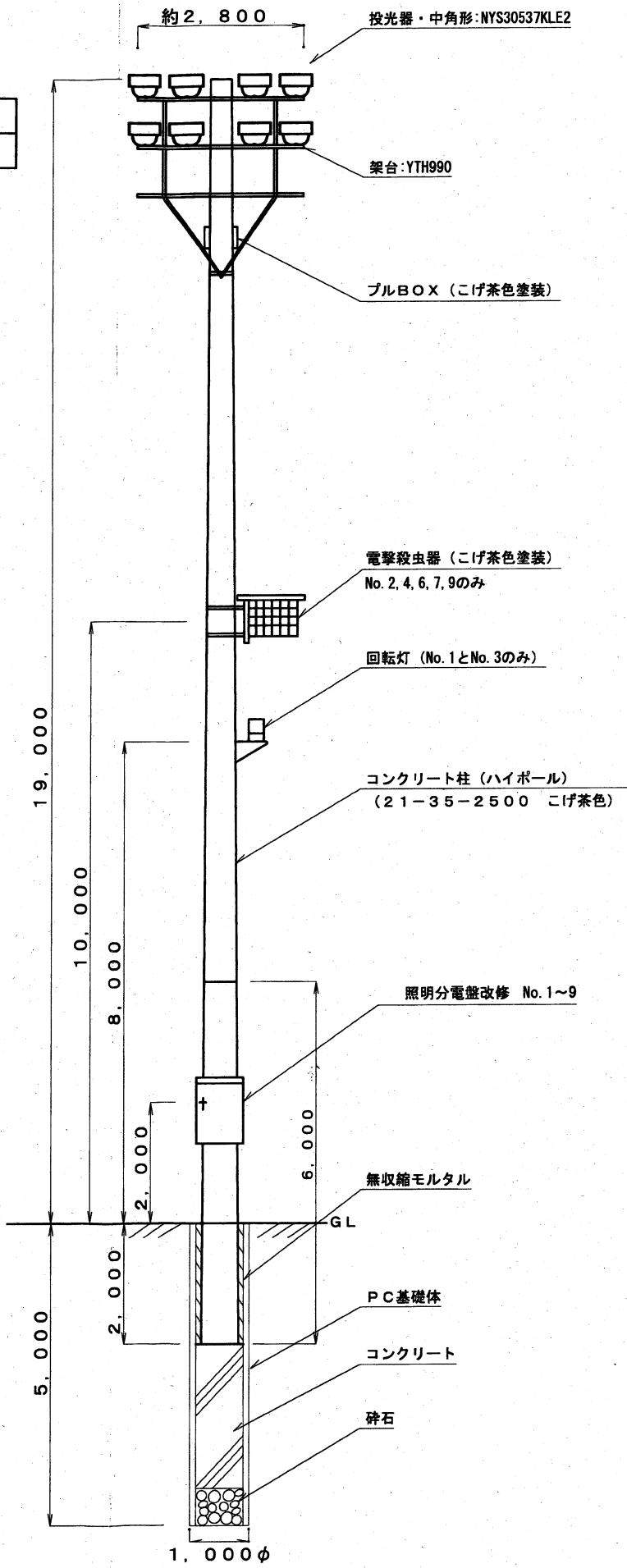
投光器数量表 (既存)

照明柱記号	投光器数量 (台)
No. 1~9	-(既設1000W) x 8
	-(既設 600W) x 4



投光器数量表 (改修)

照明柱記号	投光器数量 (台)
No. 1~9	NYS30537KLE2 x 8



設計番号		工事名称	令和7年度脱炭素化推進事業松川町上片桐町営グラウンド照明LED化改修工事				設計完了	年	月	日				
図面枚数	全 3 枚	図面名称	装柱図				図面訂正	年	月	日				
図面番号		縮 尺	A1 : 1/ 50	担当者		検 閲	図面訂正	年	月	日				